

平成 18年度小野市(普通会計)

◇ ◆ ◇ バランスシート(小野市の資産と負債の状況) ◇ ◆ ◇

平成 18年度末の市民一人あたり

資 産	137万1千円	(対前年度比 3千円減)
負 債	38万5千円	(対前年度比 2万4千円減)
正味資産	98万6千円	(対前年度比 2万1千円増)

参考	兵庫県民1人あたり
資 産	114万円
負 債	75万円
正味資産	39万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成18年度末のバランスシートによると、過去約38年間に取得、建設した土地、建物などの資産合計は683億725万円となり、取得費に対して減価償却費が上回ったことにより、前年度から1億1,547万円減りました。一方、負債合計は192億922万円となり、地方債の減などにより、前年度から11億5,912万円減りました。資産から負債を差し引いた正味の資産は490億9,803万円となり、前年度から10億4,365万円増えました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が576億3,534万円と全体の84.4%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの土木関係費が286億1,413万円、小・中学校の用地や校舎などの教育関係費が184億7,168万円で、合わせて81.7%とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職給与引当金を合わせた固定負債が173億567万円、19年度償還予定額が19億356万円となっています。

これを市民1人当たりのバランスシートでみると、市民1人当たりの資産は137万1千円、負債は38万5千円となり、正味資産は98万6千円となりました。前年度と比較すると、資産は3千円の減、負債は2万4千円の減となり、正味資産は2万1千円の増となりました。

平成19年8月30日

小野市総務部財政課